

欧米のアジア進出

名前 _____

_____ 月 _____ 日

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

今日の問い

欧米諸国は、どのようにアジア進出を進めたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 ロシア・アメリカの進出

ロシアとアメリカ

2 ロシアが不凍港を求めて南へ勢力を広げた政策。

3 アメリカが西へ領土を広げた動き。太平洋岸に達した。

4 くじらをとる船。北太平洋で多く活動した。

19世紀、産業革命で力をつけた欧米諸国は、原料と製品を売る市場を求めてアジアへ進出した。ロシアは、冬でも凍らない港(1 不凍港)を求めて南へ勢力をのばす 2 南下政策 をとり、シベリアから太平洋岸へ進んで、清の北の国境や日本の北方にもせまった。

アメリカは西へ領土を広げる 3 西部開拓 を進め、19世紀半ばには太平洋岸に達した。さらに太平洋を横断して清と貿易する航路を開こうとした。蒸気船や、北太平洋で活動する 4 捕鯨船 には、燃料の 5 石炭 や水・食料を補給する寄港地が必要で、アメリカは日本に目を向けるようになった。

2 アヘン戦争と中国・インド

イギリスの進出

7 イギリス・インド・清を結んだ貿易。アヘンを清へ売った。

8 1840年に起こった、清とイギリスの戦争。

9 1842年、アヘン戦争の講和条約。清は香港を譲った。

イギリスは清から茶を大量に輸入し、代金の銀が不足した。そこで、インドで栽培させた 6 アヘン を清へ売る 7 三角貿易 を始めた。清がアヘンを厳しく取りしめると、イギリスは1840年に 8 アヘン戦争 を起こした。敗れた清は1842年の 9 南京条約 で 10 香港 を譲り、上海など5港を開いて賠償金を支払った。

清では、重い税に苦しむ農民らが反乱を起こして 11 太平天国 という国をつくり、混乱が十数年続いた。インドでは、イギリスの安い綿織物が流れこみ、伝統的な綿織物業が打撃を受けた。1857年に 12 インド大反乱 が起こったが、イギリスはこれをおさえてムガル帝国をほろぼし、インドを直接支配する植民地とした。こうしてアジアの国々は、欧米の進出に次々とのみこまれていった。

運んだ道すじ	品物
イギリス → インド	<u>13 めんおりの綿織物</u>
インド → 清	<u>6 アヘン</u>
清 → イギリス	<u>14 ちゃ茶</u>

できた / 14